

平成25年度予算見積調書(6月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 産業教育担当

内線: 6775

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B2	未来の産業人材育成事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費		
事業期間	平成25年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目				
						分野施策	030105 産業人材の確保・育成			
1 事業の概要 中央教育審議会答申において、キャリア教育・職業教育の観点から、小学校においては、働くことの大切さの理解や、興味・関心の幅の拡大が重要であるとされている。 そこで、小学生に対して体験イベントを実施し、ものづくりへの興味・関心を抱かせることによって、キャリア教育を含めた、未来の産業人材の育成を図る。 (1) 未来の産業人材育成事業 29,940千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 未来の産業人材育成事業 29,940千円 (ア) 主体となるNPO法人等が、他のNPOや企業、社会施設等と連携し、社会人や定年退職をした方の技術や技能を活用し、小学生を対象に様々な体験イベント等を実施する。 (イ) イベントの主な内容 小学生の発達段階を考慮した職業体験 工房関係: 金属・木材加工体験などの体験 学び関係: パソコン・マシン体験、デザイン体験などの体験 食品関係: 食品加工・調理・販売などの体験 など						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 7月 入札、契約 8月 イベントに向けての計画、広報物等の作成 9月 プレイメントを1回実施(本イベントに向けての指導方法等の実証研究) 10月 プレイメントを1回実施(本イベントに向けての指導方法等の実証研究) 11月 本イベントを1回実施(専門高校が主催する催事との共催による実施) 12月 本イベントのまとめ、検証 1月 アフターイベントを1回実施(次年度以降の活用法検討)、事業所等見学 2月 アフターイベントを1回実施(次年度以降の活用法検討)、事業所等見学 3月 全イベントのまとめ、検証、報告書作成						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 ア ものづくりへの興味・関心を抱かせることによって、未来の地域産業を支える職業人の育成が図られる。 イ NPO法人がイベント企画や運営のノウハウを得る事で、次年度以降、継続的にかつ独自に取り組むことができる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 NPO法人等への委託						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金								
決定額	29,940	繰入金	29,940						29,940	
現計額										